

県医労新聞

2010年9月

盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合

電話 019-623-8271

FAX 019-623-8273

編集発行人

中野 るみ子

毎月1回発行 1843号(月刊58号)



8月4～6日 原水禁世界大会in広島に参加した岩手県代表团

目次

- 1P 原水爆禁止世界大会in広島
- 2P 日本医労連定期大会
労金理事会
全病院長等訪問
- 3P 人事院勧告
- 4P 青年部ニュース
- 5P 女性部ニュース
第42回全国保育団体合同研究
集会
- 6P つぶやき、とんがらし
7月号パズル当選者
- 7P 職場川柳、懸賞パズル
9・10月の予定
フレッシュセミナーのお知らせ



女性部が折った千羽鶴を納める
〇〇〇〇さん(釜石支部)

核兵器のない平和な世界へ

原水爆禁止2010世界大会 in 広島

原水爆禁止2010年世界大会が8月4日～6日、広島市内で開かれました。被ばく65周年を迎えた広島市には海外と日本全国から8000人が参加し、核廃絶に向け、草の根の運動をさらに広げようと熱気に包まれました。岩手からは38名、県医労からは2名が参加しました。



世界中の思ひをひとつ

釜石支部 ○○○○

初めて世界大会に参加し、世界各国から多くの人たちが集まり、平和について考え、語り合う場があることを知りました。世界中の人たちが核兵器のない平和な世界を望んでいること、被爆者が世界中に足を運んで体験談を語り核廃絶を懸命に訴えていること、65年過ぎた現在も多くの

田田忠明さんが述べた「核をなくすにはどうすればよいか。それは8月6日に平和の鐘を聴いて、世界中の人たちが、自分の家族に同じことが起こったかどうか感じるか、立ち止まって考えてほしい」という言葉でした。また、被爆者の

方々の体験談で「愛する人の死を無駄にしてはいけない」という強い言葉でした。同じことが起こったらと

考えたとき、みなさんはどんなことを思い描きますか？



世界大会に参加したスペインの青年と交流（右手前が○○さん）

広島のある国で想いをつ

久慈支部 ○○○○

1つの爆弾が、戦争がもたらした惨劇。65年経った今、更に強力・強大になった核兵器が多数存在し、世界では紛争が続き、言い尽くせない悲惨な現状があります。



貞子の像の前で 右が○○さん

しかし、17年前（当時23歳

!!）、長崎での世界大会へ参加した当時からすれば、劇的な変化が起きています。オバマ大統領のブラハ演説、国連事務総長のNPT再検討会議での発言や広島市主催の平和祈念式典への出席がそれを示しています。

被爆国の日本が核抑止力・核の傘から抜け出し、他国の軍隊基地の無い国となり、核兵器も戦争も無い平和な世界の実現へと動き出すなら、き

つと世界が変わると思います。一人ひとりが一歩動きだせば、一緒に行動するのなら現できる。戦争を始めるのが人間なら、止めるのも人間だと思っています。

私は報告会等で、平和の尊さと感謝を込めて広島で見て聞いて感じたことを、みなさんに伝えたいです。

そして核兵器廃絶が実現した「原水爆禁止世界大会」に、必ず参加しよう！と8月16日の送り火を見ながらそう想いました。

「支部がしっかりしないとね」

～病院訪問で激励を受ける～



県医労本部役員の体制が十数年ぶりに新委員長にかわったことから、各病院長、事務局長等への挨拶回りを、8月2日・3日、17日・18日の4日間、支部の協力を得ながら行いました。

すでに訪問した中央、胆沢、千厩病院を除いた18病院を中野執行委員長、〇〇副委員長、〇〇書記次長が伺いました。

訪問での懇談を通じ、県立病院は地域医療を担う大事な医療機関であること、医師・看護師をはじめ、どの職種も人手不足の実態があること、基幹病院が充実



しなければ、周辺の病院も影響が大きいこと等を実感しました。

また、労働組合の存在意義についても、「支部の組合がしっかりし、当局との良い緊張感をもつこそ、病院が良い方向に元気になる」との激励を受けました。

中野の副委員長 労金理事に！

東北労働金庫の非常勤理事に中野委員長が初の女性理事として選出されました。全国でも初の女性理事として注目を浴びています。

中野執行委員長、 日本医労連中執に選出！

日本医労連第60回定期大会

日本医労連第60回定期大会

訴えました。

また、この大会で県医労の中野委員長が、日本医労連中央執行委員に選出されました。

田中委員長は、今年も組合員数が増勢で大会を迎えられたことや秋から始まる全国キャラバンについて触れ、「患者の安全と医療を守るために、労働組合の取り組みがますます重要である」と挨拶しました。

大会では64本の、活気あふれる発言がありました。岩手からは、公立病院をめぐる状況について中野委員長が発言、全国へ



あいさつをする中野委員長

またも賃下げ勧告

一時金3.95ヶ月、給料△0.19%

56歳からの賃金抑制措置も



8月10日、人事院は国家公務員の給与等について、昨年に引き続き大幅な賃下げ勧告を行いました。特に一時金は47年前の水準となる3.95ヶ月に、給料も青年層を除き0.19%の引き下げです。このまま実施されると、この12年間で平均年間給与が約70万円も引き下げになります。

この較差をなくすために、月例給を青年層を除き0.19%引き下げ、一時金も0.2ヶ月引き下げる。さらに56歳以上の国家公務員（医師を除く）については、1.5%を給料と特別調整額から差し引くという「賃金抑制措置」を設けるという内容です。

この勧告を受けて、10日に首相官邸で開かれた「給与関係閣僚会議」では、勧告尊重という意見がある一

方で、玄葉光一郎公務員制度改革担当相（党政調会長兼務）は勧告以上の給与削減を求めた、と報じられています。

定年延長に向けた制度見直しの骨格（主なもの）

- 平成25年度から3年に1歳ずつ段階的に定年年齢を引き上げ
- 一定範囲の管理職を対象とした役職定年制の導入
- 定年前の短時間勤務制
- 60歳代前半の給与水準を相当程度引き上げ、50歳代の給与の在り方についても必要な見直しを検討
- 加齢に伴い就労が厳しくなる職種の取扱いの検討

県人事委員会へ怒りの行動を

私たち県職員への給与等の勧告は、10月に岩手県人事委員会によって行われました。昨年は人事院に追従し、勧告前に一方的に6月の一時金のカットを強行し、私たちの怒りに火をつけました。

県独自給与カットをしているのに、さらに2年連続の大幅賃金引き下げ、特に56歳以上はまさにダブルパンチで、許すわけにはいきません。公務共闘、地公共闘と力を合わせ、署名・要請行動等に積極的に参加しましょう。まずは、この酷い内容を知り、知らせていく必要があります。

○部	長					(大船渡)
○	○	○				
○副部長						(大船渡)
○○○	○	○				
○書記長						(本　部)
○	○	○	○			
○香　員						(久　慈)
○	○	○	○			
○	○		○			(二　戸)
○	○		○			(中　央)
○	○	○	○			(遠　野)
○	○	○	○	○		(中　部)
○	○	○	○	○		(南　光)
○	○		○			(釜　石)
○	○	○	○			(宮　古)

2010年度、本部青年部役員

7月24日(25)日に県医労青年部第53回定期大会が開催されました。代議員26名、オブザーバー13名を含む13支部・本部、合わせ50名の参加で今年度も大会成立を果たし、好スタートを切ることが出来ました。

最初に、元副中央執行委員長を務め現在、二戸病院支部で特別執行委員として活動している〇〇〇〇さんを

学べて良かった！
診療報酬

きました。参加者からは、「よく知らなかったので勉強になった」、「働く上で必要な知識だと感じた」等、今後の組合活動や業務に役立つ貴重な学習の場となりました。



講師：○○ ○さん



2010年度もガンバロー!!

ない。夏季も勝手にについている」「もう辞めたいという声も出ている」「管理者のパワハラがある」等、過酷な実態が報告されました。また、そんな中でも、支部青年部定期大会や歓迎会等の青年部行事を企画し交流を深めているという報告もありました。

過酷な職場環境が、職員を苦しめ離職を考える深刻な状況にまで来ています。この状況を改善するために、組合に結集し、活動を強めていく必要があります。そのためにも青年部活動を通して、青年同士のつながりを大きく深いものにしていく必要があると改めて確認

会を行いました。恒例のビンゴゲームを始め、語り、笑い、歌いながら青年同士の交流を大いに深めました。

今年度も、青年の力を合わせ共に頑張っていきたいと思います！



青年同士の交流に乾杯!!

し合いました。

議案内容は、すべて満場一致で承認され、今年度の青年部役員も選出されました。最後は、再選出を果たした〇〇青年部長の音頭で、より楽しく、より活発な青年部活動の展開を目指し、団結ガンバローを三唱し定期大会を終えました。

もちろん夜は、引き続き45名の参加者で盛大に懇親



秋のバスハイク

とき：9月25日(土) ところ：たざわこ芸術村

スケジュール

- 10:00 盛岡駅西口(マリオス) 出発
- 11:15 たざわこ芸術村 到着
フリータイム 入浴など
- 12:30 昼食(田沢湖ビアレストラン)
- 13:30 わらび劇場 入場
- 14:00 観劇「山神様のおくりもの」
- 15:45 終演
- 15:55 出発
- 17:10 盛岡駅西口(マリオス) 到着



子どもの笑顔が輝く保育・子育てでの未来を

第42回全国保育団体合同研究集会in岩手(8月7～9日)



最終日。現地実行委員会の構成劇で歌う子どもたち(9日、アイスアリーナ)

盛岡市で開催された保育合研には、全国から保育士、保護者など約6200人が参加。フォーラムや分科会、シンポジウムが行われ、子どもの笑顔が輝く保育・子育てのための交流を深めました。また、うたごえコンサートや、ジャーナリストの堤未果さんが子どもの貧困を考える記念講演をしました。

つばざき

先日、茨城方面へ車中泊しながらドライブしてきました。時間に縛られず、目的地も特に決めないで、んびりと過ごして来ました。リタイアしたら、こんな時間が多くなるんだろうなあ。袋田の滝はマイナスイオンいっぱいでしたよ。

一戸支部 越冬カメ虫

病棟応援!! 朝のミーティングで、「今日はどこが行けるのかしら」の一言から始まる。初対面の方のオムツ交換。これって…。

磐井支部 なーんかへん?

「ゲリラ豪雨」がなくなつたと思ったら、毎日暑い日が続いており、バテ気味です。「ざつつあ祭り」までに体力回復しなくつち

やね。ファイト!!

胆沢支部 ざつつあ母さん

今年も国民平和大行進に参加させていただきました。去年は娘と参加したのですが、今年は娘プラス、メタボな長男と3人で楽しく参加させていただきました。いつもは車で走ってしまふ所も、ゆっくりと周りを見ながら歩くことができました。来年も(休みであ

れば)是非参加したいと思つています。

南光支部 よっちママ

妊娠6カ月の私。お腹は日に日に大きくなり、仕事も辛くなってきました。けど、職場のみんなが毎日協力してくれるので、元気に頑張れています。みんな、ありがとうございます♡ 感謝しています!!

大東支部 七夕さま

七月号パズル 当選者発表

7月号パズル「まちがいは7つ」には23名の応募があり、23名の方が正解でした。厳正なる抽選の結果、次の10名が当選されましたので図書カードを贈ります。

7月号当選者(敬称略)

スージー・ズー(二戸支部)、○○○○○(遠野)、

つるかめ(中部)、ざつ

つあ母さん、チビミツ

ヒー(以上、胆沢)、よっち

ママ(南光)、七夕さま(大

東)、○○○○○、ドスコ

イ王子の妻(以上、大船

渡)メイちゃん(宮古)

とんがらし

「会場には車おけるの?」。駅構内の立ち喰いそば屋から出てきた、無精ひげの男性は、シャトルバス利用の案内をしている私に向かって尋ね

てきました。聞けば、「保育合研」のために大阪から一〇〇〇キロ、車を走らせてきた、と。昨日の18時に発つて、今日11時に盛岡駅に着いたといひます。「仮眠は?」との質問に、「2、3時間はしたよ」との返事。盛岡駅にはナビで到着。午後からの開始に、「じゃー早めに行かなきゃないね」とアイスアリーナ目指して、疲れも見せず去って行きました▼その日もうだるような30度超え。ある年配の女性、以前から知り合いだったかのように話しかけてきました。そして「暑いのにごろうさん!」と、ペットボトルのお茶を差し入れ。驚いていると、「ところでシャトルバスはどつち?」と、尋ね去っていきまし

た▼翌日は、北ホテル泊の方々のシャトルバス誘導。三重県から新幹線でやってきたという3名様。京都から来られたある方は、3日間の保育合研の日程を終えた後、更に別件(企業主催)で市内で開催される「保育の研修」に参加予定、とのことでした▼北東北3県では初の岩手開催となつた「第42回全国保育団体合同研究会」。盛岡の暑さもさることながら「参加したい」と全国から来られた保育士や保護者達の熱気に圧倒されました。のべ参加者6200名▼保育は、人生の大事な時期に出会う社会保障制度です。待機児童の増加や政府が「保育の市場化」をねらつた新制度を持ち出すも、と、「どの子にも幸せを保障する保育を」の願いが伝わってきます。それは、「医療の充実を」と行動する私たち医療従事者の願いにも通じており、全国の参加者から元氣をもらった「保育合研」でした。

フレッシュセミナー

日時 10月29日(金)13:30
~30日(土)12:00

会場 ホテル森の風 鶯宿



温泉で
リフレッシュ!
そして労働者の
権利を学ぼう

職場川柳

◆もういいっしょ 猛暑の夏の ビール腹

◆あり方懇 レールのままに 独法化? (暑い!でもうまい!)

(あり方懇II岩手県立病院等の事業の経営形態のあり方に関する懇談会)

◆保育士の 熱気がさらに 暑くする

(汗だく保育合研すたっふ)

◆やせられます 一日5分の 組合運動

(ダイエット大成功中執)

◆委員会 宿題背負って いんかい?

(背後霊)

9月の予定

- 4日(土)~5日(日) 岩手医労連定期大会(ホテル大観)
- 7日(火)~8日(水) 看護要求実現全国交流集会(東京)
- 11日(土) いわて労連定期大会(国保会館)
- 16日(木)~21日(火) 日本医労連全国キャラバン(岩手県)
- 17日(金) 支部長会議
- 18日(土)~19日(日) 地域医療を守る運動全国交流集会(東京)
- 18日(土)~25日(土) 全労連女性部北欧ツアー
- 22日(水)~26日(日) いわて労連20周年中国視察旅行
- 23日(木)~24日(金) 日本医労連共済会20周年・全国交流会(横浜)
- 25日(土) 女性部バスハイク 岩手医労連青年部定期大会(キャラホール)

10月の予定

- 2日(土)~3日(日) 日本医労連全国女性集会(長野)
- 健康で安全に働くための交流集会(伊東)
- 7日(木)~10日(日) いわて労連20周年韓国視察旅行
- 9日(土) イラク戦争帰還兵の証言集会(サンビル)
- 9日(土)~10日(日) 岩手医労連壮年部集会(ホテル大観)
- 16日(土)~17日(日) いのちと健康を守る東北セミナー(仙台)
- 21日(木) 社会保障費を増やして、国民集会(東京)
- 23日(土) 県医労第144回中央委員会 いわて労連女性部定期大会
- 29日(金)~30日(土) 日本医労連精神労組全国交流集会(東京)
- フレッシュセミナー(ホテル森の風 鶯宿)
- 30日(土) 青年部長・書記長会議(〃) 盛岡労連ピラ・ニュース作り教室(公会堂)

懸賞パズル

上下どちらかの絵に7つの間違った箇所の印をつけ、ハガキに貼付して、応募して下さい。正解者の中から、抽選で10名の組合員に図書カードを送ります。送る先は〒020-0023 盛岡市内丸1-1、県医労「懸賞パズル」係まで。締切は9月末日(必着)です。また、抽選には関係ありませんが、ハガキの余白に「つぶやき」



まちがいは7つ



(職場の話題など何でも)を、ぜひ一言お書き下さい。県医労新聞で紹介する場合がありますので、匿名希望の場合には、その旨を書いて下さい(ペンネーム可)。ただし、当選した場合は、記念品の送り先が必要となりますので、支部名・本名の記入をお忘れなく!